

平成 23 年 2 月 3 日

各 位

会 社 名 株式会社アイビーダイワ
代表者名 代表取締役社長 齋藤 芳春
(J A S D A Q ・ コード 3 5 8 7)
問合せ先
役職・氏名 執行役員 井上 政隆
電話 0 3 - 5 3 1 2 - 6 5 1 0 (代)

「天然資源開発投資事業の廃止に関するお知らせ」および「代表者である代表取締役の異動に関するお知らせ」の一部変更について

平成23年1月7日に発表した「天然資源開発投資事業の廃止に関するお知らせ」および「代表者である代表取締役の異動に関するお知らせ」について下記のとおり変更がありましたので、お知らせいたします。

記

1. 当初の計画の概要

平成23年1月7日開示における計画では、速やかにロドール社(9月末現在簿価10,790,000円)の売却を行い、続いて、残りの資産であるリーオクタ社の株式(9月末現在簿価143,590,000円)の売却、ブルザイ油田事業(事業権益8%、9月末現在簿価140,738,390円)の譲渡を行い事業の廃止を完結する予定でありました。平成23年1月11日開示のとおりロドール社の売却を完了し、続いて平成23年2月中にはリーオクタ社株式の売却も完了する予定で交渉を行っております。残るブルザイ油田事業につきましても臨時株主総会までに売却の目途をつけ、今期中にはすべての天然資源開発投資事業の廃止を行う予定でありました。また、それに伴い担当役員である高橋正紀には、臨時株主総会の日をもって取締役を辞任することとなっております。

2. 変更内容及び理由

平成23年1月7日の開示におきまして、「本日より2月中旬に予定される臨時株主総会までの期間、高橋正紀は取締役として同事業の清算を進め、本年度末までに完全に同事業を廃止いたします。」と開示いたしましたが、ブルザイ油田事業については現在も少ないながら収益が上がっており、新たな費用の発生もないことから事業権益の売却については、より高い評価をしてもらえる相手先を探すこととし、正式な日程は決定し次第お知らせいたします。また、リーオクタ社株式の売却およびブルザイ油田事業の売却交渉を行う際に、高橋正紀が資源事業担当取締役としての立場でいることで交渉が円滑に進められるため、高橋正紀には臨時株主総会後も引き続き取締役として天然資源開発投資事業の整理・収拾に努めていただくこととなりました。

したがいまして、過去の天然資源開発投資事業の撤退の日程は来期に持ち越される可能性があります。また、高橋正紀は次回の定時株主総会における取締役の任期満了までの間、取締役を務める可能性があります。

2. 今後の見通し

当該開示において、業績に与える重要な影響はありません。

以 上